

総務文教常任委員会

◎池田 綱雄 ○有村 隆志 平原 志保 阿多 己清 中村 正人 松元 深
 塩井川幸生 池田 守 前川原正人 ◎委員長 ○副委員長

<審査した議案>

議案第59号	霧島市税条例等の一部改正について	賛成多数で可決
議案第63号	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	賛成多数で可決
議案第64号	霧島市温泉を利用した発電事業に関する条例の制定について	全会一致で可決
議案第65号	霧島市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する条例の制定について	賛成多数で可決
議案第66号	財産の取得について	全会一致で可決
議案第69号	請負契約の締結について（H27国分庁舎増築建築工事（1工区））	賛成多数で可決
議案第70号	請負契約の締結について（H27国分庁舎増築空調設備工事）	賛成多数で可決
議案第71号	請負契約の締結について（H27国分庁舎増築他昇降機設置工事）	賛成多数で可決
議案第75号	和解することについて	全会一致で可決

問 個人番号カードには、有効期限があるのか。
答 市民からの申請に基づき、平成28年1月からICチップ入りの磁気カードを交付することになるが、有効期限は、20歳未満が5年、20歳以上が10年となっている。

問 カードを紛失した場合、再発行手数料はいくらか。
答 個人の紛失の場合、

問 個人情報の漏えいに関する部分など、市民にしっかりと説明ができていますか。
答 個人番号カードには、氏名、住所、生年月日、性別の4つの基本情報しか入っていないので、もし紛失しても個人情報の情報がすべて明らかになるものではない。そこについてもしっかり周知していきたい。

問 個人番号カードに関する条例の制定について。
答 温泉資源のある地域において、温泉利用による発電事業が活発化していることから、温泉利用発電事業に関する手続を定め、温泉資源の適切な保護及び適正な利用を図るため、新たに条例を制定しようとするものであるとの説明。

問 検討委員会の構成はどう考えているのか。
答 識見を有する者が4名で、地域住民の代表、

問 個人番号カードに関する部分など、市民にしっかりと説明ができていますか。
答 個人番号カードには、氏名、住所、生年月日、性別の4つの基本情報しか入っていないので、もし紛失しても個人情報の情報がすべて明らかになるものではない。そこについてもしっかり周知していきたい。

問 個人番号カードに関する条例の制定について。
答 温泉資源のある地域において、温泉利用による発電事業が活発化していることから、温泉利用発電事業に関する手続を定め、温泉資源の適切な保護及び適正な利用を図るため、新たに条例を制定しようとするものであるとの説明。

問 検討委員会の構成はどう考えているのか。
答 識見を有する者が4名で、地域住民の代表、

問 個人番号カードに関する部分など、市民にしっかりと説明ができていますか。
答 個人番号カードには、氏名、住所、生年月日、性別の4つの基本情報しか入っていないので、もし紛失しても個人情報の情報がすべて明らかになるものではない。そこについてもしっかり周知していきたい。

問 個人番号カードに関する条例の制定について。
答 温泉資源のある地域において、温泉利用による発電事業が活発化していることから、温泉利用発電事業に関する手続を定め、温泉資源の適切な保護及び適正な利用を図るため、新たに条例を制定しようとするものであるとの説明。

問 検討委員会の構成はどう考えているのか。
答 識見を有する者が4名で、地域住民の代表、

平成27年度 一般会計 補正予算 第2号

17億7,619万1千円 を追加計上

予算総額は、581億5,204万2千円に

第3回 定例会

一般会計補正予算（第2号）は、国・県から事業採択等の通知に伴う各種事業費を始め、梅雨前線に伴う被害等に対する災害復旧費や、平成26年度決算剰余金の積立て経費のほか、小田工業団地の売却収入などを計上しています。また、国の平成26年度補正予算で計上され、本年度に交付される「地域住民生活等緊急支援交付金」に関連する経費の計上が主なものです。

補正予算規模は、歳入歳出の総額17億7,619万1千円を追加計上し、補正後の一般会計予算の総額を581億5,204万2千円とするものです。歳入については、それぞれの事業に対する国・県支出金や市債等を

市債発行について
問 市債の1億3,840万円の増額補正は、どの事業の財源となるのか。
答 全額災害復旧費で、交付税措置がある地方債とした。また、元利償還金の措置率として、補助事業関係の95%、単独事業関係で公共土木の66.5%、農地等の100%が普通交付税に算入される。

単独農地農業用施設災害復旧事業について
問 農地の災害復旧事業で13万円以下の工事は該当しないため、各個人が自力で復旧することとなるが、農地が荒廃しないようにするための方策は

霧島産物等PR事業について
問 「こめ祭り」の開催内容を具体的に示せ。
答 来年の2月頃を予定し、米の消費拡大として、子どもたちが親と一緒にしておにぎりを作ってもらったり体験コーナーや、野菜ソムリエによる料理教室、小学校対抗の米に関するクイズ大会、ご飯



市道亀割～牧之原線の道路崩壊

今回の一般会計補正予算の主な事業	
● ホームページリニューアル事業	1,150万円
スマホ対応のため2,000ページのリニューアル	
● 特定建設事業基金積立金	1億4,980万円
平成26年度決算剰余金の積み立て	
● 魅力ある大学づくり支援事業	2,000万円
第一工業大学「植物バイオシステムコース」新設補助	
● 温泉資源の保護等に関する委員会運営事業	62万円
温泉の資源保護と適正な利用を図るための委員会を設置し、地熱発電を行う事業計画について調査・審議を行う	
● 商工業振興総務管理事務事業	28万円
中小零細企業振興策について評価・検討	
● 福山地区運動施設管理運営事業	4,554万円
まきはら運動公園に交流施設等やトイレ設置	
● 学校給食施設整備事業	806万円
牧之原学校給食センターの備品購入経費	
● 農地農業用施設災害復旧費	1億6,930万円
● 林業施設災害復旧費	740万円
● 土木施設災害復旧費	2億1,670万円

不動産売却収入について
問 5億4,980万9千円の増額補正は、小田工業団地の土地売却額だが、売却していない残地はどうなるのか。
答 残りの用地は、残地森林として、市で管理する。

温泉資源の保護等に関する調査検討委員会運営事業
問 温泉資源の保護等に関する調査検討委員会運営事業について、今回は、開催する2回分の委員会の経費だが、現在、新たな地熱開発に関する動きがあるのか。
答 現在、丸尾地区での温泉を利用した発電について、民間による掘削申請が、県に出されており、地熱発電という形で12件、そのうち替え掘りが8件、増掘が4件の申請状況である。